

相模川総合開発共同事業

城山ダム、寒川取水施設などの維持管理をしています。

昭和30年代後半から著しく増大する水需要に対処するため、水道用原水の供給と発電事業を行い、併せて洪水調節機能の強化を図るため、神奈川県が横浜市、川崎市及び横須賀市との共同事業として、城山ダム、寒川取水施設等を建設しました。

城山ダム及び寒川取水施設の築造は昭和36年度から昭和40年度までの5か年継続事業として、相模川支川串川の流域変更による取水施設等の築造は昭和43年度及

び昭和44年度の2か年継続事業として、それぞれ実施しました。

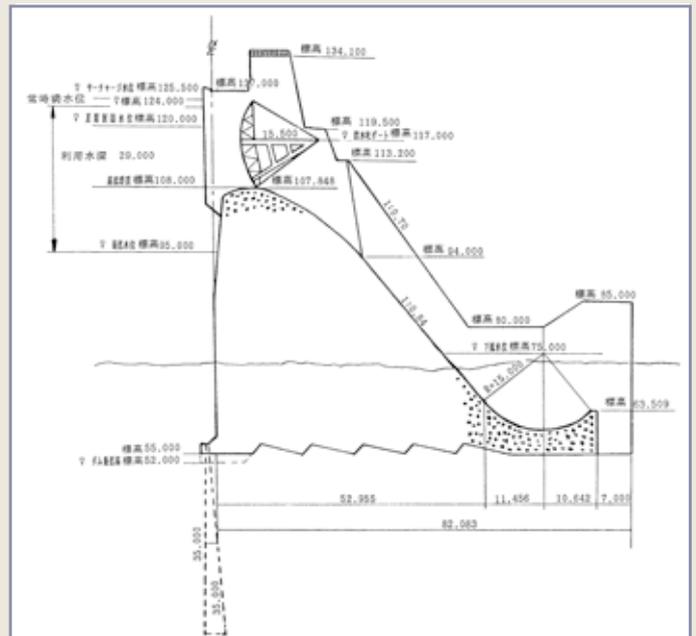
なお、この事業の一環として本沢ダムを築造し、これを利用して最大出力25万kWの純揚水式城山発電所を建設し、昭和40年10月29日から運転を行っています。

このうち共同事業として建設した施設の維持管理は、企業庁が神奈川県、横浜市、川崎市及び横須賀市の各事業者から委託を受けて行っています。

城山ダム

- 完成年月 ● 昭和40年3月
- 形式 ● 重力式コンクリートダム
- 堤高 ● 75m
- 堤頂長 ● 260m
- 総貯水容量 ● 6,230万 m^3
- 有効貯水容量 ● 5,470万 m^3

城山ダム標準断面図（両側越流部）（単位：m）



城山ダム貯水池等保全対策

流芥処理や貯水池湖岸の崩落対策など城山ダム施設及び城山貯水池（津久井湖）の保全対策を行っています。流芥処理はダムに流れ着く流芥（流木、ごみ類等）を網場によってせき止め、陸揚げの後、流木は主にチップ化処理し、ごみ類は廃棄処理しています。



流芥引揚状況▶

津久井湖環境整備事業

津久井湖の「富栄養化現象」に伴うアオコ発生を抑制する対策として、エアレーション装置を平成5年度に2基、平成6年度に3基、平成7年度に2基、平成8年度及び平成9年度に1基ずつ、合計9基設置しました。また、平成13年度からは、植物による水質改善を図るため、植物浄化施設の設置を行っており、平成15年度に三井地区、平成19年度に沿本地区の整備を完了しました。なお、河川管理者（神奈川県知事）から維持管理等を、企業庁が受託して行っています。



三井植物浄化施設▶

寒川取水堰

完成年月 ● 昭和 39 年 3 月

形式 ● 重力式可動扉付 フローティングコンクリート堰

標高 ● 5m(取水位)

堰 高さ ● 6m

堰 長さ ● 270m

放流施設 ● 土砂吐水門 ローラーゲート 幅 13m× 高 3.0m 1 門

洪水吐水門 ローラーゲート 幅 20m× 高 2.5m 3 門

魚道 階段式 流水幅 10.4m 舟通しデニール式 流水幅 7.2m

